

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 詩篇 4:3 …… 御言葉に耳を傾け心を主に向けましょう。
- *賛美 …… 27番
- *交読文 …… 3番
- *使徒信条 …… 会衆一同
- *頌栄 …… 25番
- 礼拝のための祈り …… 1部:渡辺和歌子 働き人 2部:小林美之 働き人
- 賛美 …… 399番
- メッセージ …… 支配者であれ(創世記 1:26-31)
- 御言葉を適用する祈り .. 会衆一同
- 賛美 …… 388番
- 献金感謝の祈り …… パスター
- 報告 ……
- *主の祈り …… 会衆一同
- *祝祷 …… パスター

天声教会は

- ・御言葉なる主の御声を忠実に聞く教会。(ヨハネ 1:1、マタイ 3:17、17:5)
- ・主の御言葉を心で信じて義に至る教会。(ローマ 10:10)
- ・全能なる主の御言葉を口で告白し、救いに至る教会。(ローマ 10:10)
- ・受けた恵みを愛と忍耐をもって実践する教会。(テサロニケ 3:5)

祝福の御言葉(下線にご自身のお名前を入れて宣言して下さい)

今____と、このすべての民とは、共に立って、このヨルダンを渡り、わたしが____に与える地に行きなさい。____が、足の裏で踏む所はみな、わたしがモーセに約束したように、____がたに与えるであろう。… ____が生きながらえる日の間、____に当ることのできる者は、ひとりもないであろう。わたしは、モーセと共にいたように、____と共にあるであろう。わたしは____を見放すことも、見捨てることもしない。強く、また雄々しくあれ。____はこの民に、わたしが彼らに与えると、その先祖たちに誓った地を獲させなければならない。ただ強く、また雄々しくあって、わたしのしもべモーセが____に命じた律法をことごとく守って行い、これを離れて右にも左にも曲ってはならない。それはすべて____が行くところで、勝利を得るためである。この律法の書を____の口から離すことなく、昼も夜もそれを思い、そのうちにしるされていることを、ことごとく守って行わなければならない。そうするならば、____の道は栄え、____は勝利を得るであろう。わたしは____に命じたではないか。強く、また雄々しくあれ。____がどこへ行くにも、____の神、主が共におられるゆえ、恐れてはならない、おののいてはならない。(ヨシュア 1:2-9)

神は元々、人を、神に「似る(ツェレム:影、像)」ように、神の「かたち(デムース:似ている、類似した)」に、創造した。そして海、空、地の全ての生き物を支配するように(創世記 1:26)。宇宙広しと言えど、地球にどんなたくさんの種類の生物がいると言えど、神の像、神に似た者として造られたのは、私達人間だけだ。人は「神のかたち」故に、神のように自由に選択し行動する性質が与えられた。それも、神を裏切る自由さえも。それで人はそれを用いて、神を裏切り、聖なる神とは似ても似つかぬ者に成り下がってしまった。しかし神は、そんな私たちを簡単に切捨て捨てるような事はせず、むしろ、私たちを愛し、私たちを神の子と呼ばれるようにするために、どれ程大切な代償を支払って下さか。神は、ひとり子をお与えになった程に私たちを愛された。それは御子を信じる人が一人も滅びる事なく、永遠のいのちを持つためである。神が本来人に与えて下さった素晴らしい特権を回復するためには、**神との「親子関係」を回復する事**である。神は、神との親子関係を回復する道を、人に対して開いて下さった。神の子とは、どういう人か。それはイエス様を自ら受け入れた人、すなわち彼の名を「自分から好んで信じ続ける人々(現在形能動態)」(ヨハネ 1:12)であり、自分をきよく保つために汚れから出て行って自らを分離する人であり(2コリント 6:14-18)、そして、**聖霊に導かれている人**である(ローマ 8:14,ガラテヤ 4:6)。

神の子には、次の命令が与えられた。「生めよ(パラー)、ふえよ(ラバー)、地に満ちよ(マラー)、地を従わせよ(カバッシュ)。また海の魚と、空の鳥と、地に動くすべての生き物とを治めよ(ラダー)」(創世記 1:28)ここに幾つかの命令がある。まずは「生めよ(パラー)」、この言葉が派生してエジプトの王の称号「パロ」が出た。エジプト人は産んで増えて行く事を願って、「パロ」を王の称号にした。しかしそのパロが恐れる程に、神は、「神の子」を生んで増やし、地に満たして下さる。次に「増えよ(ラバー)、地に満ちよ(マラー)」も、命令型動詞である。命が増え広がって行く事が主の命令であるからには、産む事を躊躇したり、間引きしたりするのは主の御旨に反するのだ。また、「征服せよ(カバッシュ:踏みしめる、征服する)」、「治めよ(ラダ:支配する、踏む)」、これは「本質」を貫きなさい、という命令である。私達・神の子たちが、世から従わされたり、世からリードされたりする事は、神の本質ではないのだ。神は私たちに、地の生き物も、海の生き物も、空の生き物も足の下で征服(カバッシュ)せよ！足の下に支配(ラダー)せよ！と命令された。これを、Lordship, Kingship(ロードシップ、キングシップ)命令、と言う。神の子として尊厳を持ち、貴族的に、優雅に統治し支配する。このロードシップに信仰の先人達は歩んだ。主と共に歩んだアブラハムに対し、世の王であるパロは恐れ、アビメレクも彼に平伏して「契約を結ぼう」と媚びて来た。イサクに対しても、最初はアビメレクは食ってかかって来たが、彼が柔和に、平和に主と共に歩み、それで何をしても栄えるので、彼は「あなたには神がいる」と言って恐れ、自ら契約を結びに来た。ヤコブも、当時世界最強の王・パロを、祝福した。霊的に上の立場だからだ。このように、神の子としてロードシップに、キングシップに歩むなら、世の王たちが恐れをなし、宝物や贈り物を携えて平伏しに来るのだ。

この命令に背を向けるなら、世の者たちも自然界も、食ってかかるようになる。私たちは、神の子として歩み続けるべきである。イエス様の「名」を「自ら信じ続けている」だろうか。自らをきよく保っているだろうか。汚れから出て分離する努力を止めていないだろうか。御霊に歩んでいるだろうか。それらを怠って神を軽んじ続けるなら、世の側が調子に乗り、リードされ、従わせられてしまう。アブラハムの子孫達さえ、主を軽んじ続けたために敵が調子づいて「ひれ伏せ。われわれは乗り越えて行こう。」と言われ、背中を地面のように、歩道のようにして、敵が踏んで乗り越えて行くのにまかせた。(イザヤ 51:23)

神の言葉に服従し、地を踏み、地を支配するのが、神の子の本分である。主は御言葉に従ったアブラハムに、またヨシュアに、命じられた。あなたがたが足の裏で踏む所はことごとく、あなたがたに与える、と。私達もイエス様にあつて神の子とされたからには、踏んで、支配するべきである。キリストを信じ、神と親子関係を保ち続ける「神の子達」は、地の全てのものも、サタンとそれに属する者達を足の下で支配するべきであつて、支配されるべきではない。神の子としての座をキープし続け、支配する皆さんでありますように！

横浜天声キリスト教会

礼拝 週報



集会案内

各礼拝はインターネットでライブ中継しております → youtube.com/c/横浜天声キリスト教会

日曜礼拝

1部礼拝 10:30 賛美 11:00 礼拝
食事/フェローシップ/賛美 12:30~
2部礼拝(韓国語通訳有) 14:00

金曜徹夜祈祷会 21:00~

日々の集会

月~金 早天祈祷会 5:00~
火・木・金 賛美と祈りの集会 13:00~
火~木 夜の祈祷会 19:30~

水曜礼拝

1部 13:00~
2部 19:30~

アクセス

横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番B出口を出てまっすぐ徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で
聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



〒231-0058

パスター: 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園I-201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



YouTube